

ふなキッズと創ろう素敵な図書室プロジェクトについて 第2期

船城小プロジェクトチーム

ふなキッズが読書好きになる取組の推進

2学期は主にふなキッズの読書意欲を高める取組を中心に行った。全国学力・学習状況調査において授業以外で学校図書館や公共図書館に行く頻度は週1回から週3回程度と回答した児童はわずか約27%（令和元年度調査）と報告されている。また、授業以外に普段どれくらい読書をするかについては、30分未満が70%強であり、そのうち全くしない児童も約7%（令和3年度調査）いることも報告されている。今年度の6月に行った本校の児童用生活アンケートの結果においても、家庭で進んで読書をしている児童が昨年度48%、今回41.2%と少し減っている。また、全く読まない児童も27.5%いる状況である。

このようなことから、子どもたちの読書離れが進んでいると判断し、まずはふなキッズに本をもっと好きになってもらうことを目指して取り組んでいる。

1 図書委員会による工夫した活動

船城小では、ふなキッズ主体の活動を継続して進めている。人数が少ないため、4、5、6年生が中心になり図書委員会が編成されている。令和7年度後期は「わくわく図書室委員会」と名付け、読書啓発のポスター展示や図書ビンゴなどの新たな取組を進めている。図書の紹介や図書のビンゴを通して読書に対する意欲が高まっている。

図書委員会の児童も決められた活動をこなす役割から、創造的な活動を行う役割への転換が見られ、新しい取組を進んで行う意欲や主体性が育ってきている。



2 読書マイスターの取組

丹波市で実施している「読書マイスター」に全校で積極的に取り組んでいる。「読書マイスター」とは、10月から12月の3か月間に、小学校低学年は50冊、高学年は25冊を読破することで認定される制度である。今年度は、月目標とも関連させて、読書ビンゴの取組も合わせて行うことで、より多くのふなキッズが読書を好きになり、その結果多くの読書マイスターが誕生するようにも取組を進めている。

読書マイスターの取組においては、令和4年度は4名（全校生の約6%）であったが、令和5年度は15名（約27%）、令和6年度は24名（約46%）と年々着実に増加している。



ふなキッズふれあい図書室だより No.8

船城小学校学校運営協議会 11月25日発行



めざせ！読書マイスター

学校ではふなキッズにたくさんの本を読んでもらおうと読書マイスターの取組を始めています。1月7日までに1～3年生は50冊以上の本を読む、4～6年生は25冊以上の本を読むと読書マイスターに認定され、認定書が贈呈されます。わくわく図書室委員会の子もたちが右のような読書マイスターのビンゴカードを用意し、ビンゴになった子には手作りのプレゼントで応援してくれています。明日から冬休みになるので、読書のチャンスです。できるだけ多くの本を読み、多くのマイスターの誕生を期待しています。

めざせ！
読書マイスター

()年 名前()

二週間で 3冊読む	教室の 学級文庫を 読む	1日20分 本を読む	新刊(新し い)本を読む	二週間で 毎日本を読む
スポーツの 本を読む	図書室で 本を借りる	絵本を 読む	読み聞かせ を聞く	生き物の 本を読む
クリスマス の本を読む	昔話を 読む	読書マイ スターになる	ねる前に 本を読む	家で 本を読む
ひみつシリ ーズの本を 読む	自分のお気 入りの本を見 つける	友だちに本 の話をする	読み聞かせ をする	空いた時間 に本を読む
図書室の本 を読む	手話の本を 読む	メディアの 時間を読書 にかえる	姉妹書を 読む(水曜日 以外も)	春日図書館 の本を読む

ビンゴになった人には
図書委員会からプレゼントがあります！
しめきり 12月25日

本好きにするためのHOW TO 読書 ⑦絵本の読み聞かせ

- ・親が読んで楽しい、感情移入できる絵本を読み聞かせる。
- ・好きな絵本は何度も読んであげる。
- ・話の続きを予想させる(つぎはどうなるかなあ?)。
- ・スキンシップを取りながら読み聞かせをする(例えば膝の上に座らせて・・・。高学年でもうれしいものです)。

「ふなキッズふれあい図書室」をのぞいてみませんか？

《だれが利用できますか？》

- ・ 船城小校区在住の方は、どなたでも利用できます。
- ・ 本を借りるだけでなく、気軽に足を運んでください。
- ・ 1月の貸し出し日は 以下の3日間です。

16日(金)・23日(金)・30日(金)

- ・ 利用時間は 9時00分～12時00分までです。



3 読み聞かせの取組

読書意欲の喚起をねらった取組として、読み聞かせにも取り組んでいる。

高学年が低学年に読み聞かせを行うだけでなく、低学年が高学年に読み聞かせを行う試みも進めている。読み聞かせは、読書意欲を高めるとともに異学年の絆を深める機会となっている。



また、ふみ（23日）の日の取組として、毎月、家庭での読書活動を推進している。おうちの人に読み聞かせをしたり、時には、膝の上ののって読み聞かせをしてもらうなどの取組を加えたりすることで、おうちの人とのスキンシップを図る機会にもなっている。高学年でも、膝に座らせて読み聞かせをすることで「こどもが大きくなったことを実感した」「恥ずかしかったけど、うれしかった」等の感想があった。



ふなキッズふれあい図書室だより No.9

船城小学校学校運営協議会 1月23日発行



読み聞かせは絆づくり

船城小学校では、読み聞かせに力を入れています。本好きにするためだけでなく、子どもどうしをつなげる大切な機会と考えています。先日は高学年から低学年への読み聞かせを行いました。みんなとても優しく、低学年の子に分かりやすいように目線を合わせてかがんだり、ゆっくり読んだり、優しい声かけをしてくれたりします。本当に思いやりのあるふなキッズだなあと感じ、見ていると心があたたまります。こんな効果もあって、ふなキッズの絆も深まっていくんだなあと感じています。こういった機会をこれからも大切にしていきたいです。



本好きにするためのHOW TO 読書

⑧読書につながる働きかけ

- ・子どもから質問された時にすぐに答えを教えるのではなく内容が載っている本で調べてみるように促す。
- ・映画を見に行き、物語の原作に興味を持つようにさせる。
- ・身近なことを取り上げてお話づくりや絵本づくりをしてみる。



「ふなキッズふれあい図書室」をのぞいてみませんか？

《だれが利用できますか？》

- ・船城小校区在住の方は、どなたでも利用できます。
- ・本を借りるだけでなく、気軽に足を運んでください。
- ・2月の貸し出し日は 以下の3日間です。

4日（水）・13日（金）・25日（水）

- ・利用時間は 13時30分～15時30分までです。



